

年	課題（現状、傾向、課題分析）	改善プラン（改善のための具体策や取り組み）	成果と課題
国語	<ul style="list-style-type: none"> <li>自分の書いた文章を読み返して、間違いなどをすすんで訂正できることができるようにすること。</li> <li>自分の書きたいことを明らかにし、文章に表すことの苦手意識を少なくしていくこと。</li> <li>漢字を正しく書こうとする意欲を高めること。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>自分で書いた文章を声に出して読み返す活動を日々の授業に取り入れる。</li> <li>文章を友達と交換し読み合い、友達の文章の良いところを見つける活動を設ける。</li> <li>短い言葉で書いたり、順序を表す言葉を習得して書いたりすることで、短文を書く活動に慣れ親しませる。</li> <li>漢字の小テストを單元ごとに行い、習熟を図る。</li> </ul>	
社会	<ul style="list-style-type: none"> <li>図やグラフから必要な情報を読み取る力を伸ばさせること。</li> <li>既習事項（地図記号や方位）を十分に定着させること。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>読み取る視点を明確にしてから取り組ませ、時間を十分に確保する。</li> <li>授業冒頭にフラッシュカードを用いて継続的に定着を図る。</li> </ul>	
算数	<ul style="list-style-type: none"> <li>効率よく正確に計算できるようにすること。</li> <li>考えたり表現したりする場面で、既習事項を想起したり、工夫したりすること。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>チャレンジタイムで計算問題を繰り返し解く。また、取り組み時間を計り、計算スピードを意識しつつ正確に取り組ませる。</li> <li>授業でさまざまな表現方法を交流し、自分の考えを違う方法で表現する活動を設ける。</li> </ul>	
理科	<ul style="list-style-type: none"> <li>観察したことを絵や言葉でまとめる際の言葉の表現の仕方高めること。</li> <li>既習事項を十分に定着させること。</li> <li>役割を分担して実験等に取り組むこと。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>まとめ方を工夫した児童の観察カードをクラスで共有する場を設定する。</li> <li>プレテストを実施し、ポイントをおさえて既習事項の定着を図る。</li> <li>実験をする上で必要な役割を児童と確認し、一人一人に役割があるように教師が設定する。</li> </ul>	
音楽	<ul style="list-style-type: none"> <li>自然で無理のない歌声で伸び伸びと歌うことができる児童が多いが、より自分の思いをもって歌えるようにすること。</li> <li>旋律や歌詞の内容と曲想との関わりに気付き、言葉や旋律の特徴に合う歌い方を考えたり、どんな音楽か言葉で表現すること。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>基本的な発声のよさを生かし、歌唱表現の幅が広がるよう、題材のめあてを明確にし、自分の思いをもてるような題材を設定する。</li> <li>児童が音楽で用いる語彙を増やせるよう、曲想に関する言葉を掲示したり、ペアで意見交換した後で全体で交流したりしながら、自分の思いをもって表現活動できるようにする。</li> </ul>	
図工	<ul style="list-style-type: none"> <li>作品を時間内に仕上げるようにすること。</li> <li>題材に対して自分なりの工夫をすることに、より意欲を高めて取り組むようにすること。</li> <li>それぞれの材料に適した接着方法を選ぶなど、仕上げの丈夫さや美しさのために道具を使い分けること。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>個々の課題や特性にあわせて声掛けをし、それぞれのペースでの基礎・基本の定着を図る。</li> <li>様々な発想に対応できるように材料や道具を幅広く用意しておく。</li> <li>道具の使い方の基礎・基本を押さえ、それぞれの道具のよさを伝えていく。</li> </ul>	
体育	<ul style="list-style-type: none"> <li>勝敗に固執し、純粋に運動を楽しむことができず、不満が多くなってしまふことがある。</li> <li>ゲームの結果から、作戦を立てて工夫する経験が少ない。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>仲間と運動する楽しさを実感させたり、相手がいることでゲームに取り組めることに気付かせたりすることで、他者を尊重する心を育む。</li> <li>作戦を立てる時間、その作戦が有効であったかを振り返る時間を設ける。</li> </ul>	